

十年の歩み

創立年度

1976-77

昭和51～52年

R.I. 会長 ロバート・A・マンチェスターII (アメリカ)

Service : I Believe in Rotary.

奉仕 : ロータリーを私は信奉する

●国際大会 サンフランシスコ

第358地区ガバナー 木本茂三郎

第4分区代理 梅沢潤三郎



会長
鈴木 銀蔵



幹事
上田 喜信

副会長	相臺 莊太郎
副幹事	岡田 章男
会計	飯沼 清夫
S A A	山崎 市造
各委員会委員長	
会務奉仕	相臺 莊太郎(理事)
出席	関口 孝夫
親睦活動	森川 一雄
会報	市村 明
プログラム	藤本 成雄
広報	松崎 芳隆
会員増強	大塚 恒治
会員選考	利根川 節二
職業分類	荒井 真一

R 情報	藤村 許次
ソングリーダー	横山 智晃
拡大	横井 善一郎
社会奉仕	横山 有教(理事)
インターアクト	森 要
ローターアクト	赤羽 敬司
青少年	桃井 順諦
職業奉仕	小島 勇(理事)
国際奉仕	工藤 一男(理事)
世界社会奉仕	江川 勝
米山記念奨学会	崎山 三生
R 財団	足立 清一
	花田 実(理事)
	中田 三郎(理事)

— 活動の記録 —

1976. 10. 26 西新井大師書院において、東京足立ロータリークラブ創立の打合せ会合を開く。20名参加。
11. 4 創立会員一同、東京江北ロータリークラブ例会を訪問。
11. 25 在京クラブ会長、幹事会（ホテルニューオータニ）。
11. 26 創立総会を上野タカラホテルで開催、創立会員32名、会長・鈴木銀蔵、副会長・相臺莊太郎、幹事・上田喜信、R I より加盟承認の電報を披露される、参加者111名。
12. 24 クリスマス家族会（タカラホテル）。
12. 28 R I 加盟正式承認。
1977. 1. 24 新年宴会（千住 比呂や）。
1. 28 第4分区会長幹事会（田川）。
2. 11 クラブ親睦旅行（熱海中央ホテル）。
2. 18 在京クラブ会長、幹事会（京王プラザホテル）。
- 3.26～27 第358地区年次大会（京王プラザホテル ホスト府中RC）。
4. 28 認証状伝達式 参加クラブ100 参加者1111名（東京プリンスホテル）。
- 6.5～9 R I 国際大会 サンフランシスコ。
6. 19 クラブ親睦旅行（熱海 青木館）。 会員47名

創立総会

1976年11月26日上野タカラホテルにおいて、ガバナー、地区パスト・ガバナー、地区役員、分区代理、スポンサー・クラブ（東京江北RC）の会長以下理事、役員及び特別代表姫川親一氏、拡大補助者安齊謹一氏、創立会員の出席のもとに創立総会が開催され、東京RCの創立より数えて実に56年目、80番目のRCとして東京足立ロータリークラブが誕生し、ここで会長に鈴木銀蔵氏、副会長に相臺莊太郎氏、幹事に上田喜信氏のキーマン3氏を選出して発足した。



国際ロータリー加盟 認証状伝達式 (チャーターナイト)

1978年4月28日
東京プリンスホテル

わが足立RC国際ロータリー加盟認証状伝達式は多数のロータリアンの祝福を集めて厳粛に華々しく執り行なわれた。

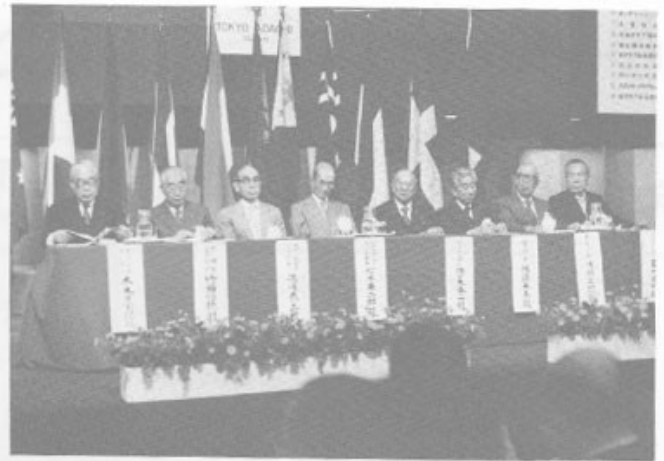
かえりみれば、昨年11月26日新クラブとして発足以来5ヵ月目のことである。その間、親クラブの諸氏をはじめ会長以下クラブ員の一致協力により当クラブの充実がはかられ、認証状伝達式を迎えるに到った。これによって当クラブは一人歩きをはじめたことになる。

我々はこの日の感激を社会的奉仕への第一歩として終生銘記するであろう。

100クラブ、1,111名の参加!!

陽光と雨と突風と変化にとんだ晩春の午後、定刻が迫り、広い会場に三々五々集って来るロータリアンの交歓の声、ざわめき。次第に喜びの興奮、期待、緊張感と共に雰囲気は昂まっていく。開会前のそれは、まるで潮が満





ちて行くように。エレクトーン演奏が静かに始まる。

花田メンバーの司会のことばにつづいて暗くなった場内に若者らに捧げられた万国旗入場。正面に立てられライトに照し出される。国歌斉唱に続き藤山一郎氏(東京西RC会長)の指揮により明るくロータリーソング。ここで姫川特別代表より来賓紹介があり、次に参加クラブの紹介を安齊拡大補助者。会場の空気がほぐれて来るに従って参加クラブ諸氏の挨拶も活発に、夫々のメンバーが負けじと声高く腕をかかけ、拍手を送りながら当クラブのメンバーはその友情に胸を熱くする。設立経過報告と新会長の紹介を特別代表より受け、その一貫して親身で且つ精力的な氏の助力によるところが大きいことを痛感しつつ、いよいよ本大会はクライマックスを迎える。

讃えられよ 認証状伝達!!

勝者を讃える音楽と共に振袖姿の令嬢達から認証状は木本ガバナーに。古風ではあるが格調高い英文で認証状が読みあげられ、鈴木会長に手渡された。満場をゆるがす拍手はしばしなりやまず、鈴木会長が高々と掲げる認証状のロータリーマークはライトを浴びて金色に燦然と輝いた。

思えばこの一瞬のために足立RC諸氏の努力はあったといえる。

木本ガバナーの式辞は新クラブ発足の慶びを述べられる中に、その人柄通り静かに淡々とロータリーの根本理念をおりませられた。

スポンサークラブ江北RC二葉会長は喜色

満面、わが子誕生の感動を卒直に表わされた。

わが鈴木会長は人情味溢れる独特の調子で三十分もかけたい感謝のことばをわずか三分で十分に語りつくされた。ユーモラスで誠実な話しぶりは会衆の胸を打つ。

いよいよ新メンバーの紹介に至り、赤羽会員から吉村会員まで夫々、壇上にスポットライトを浴びて挨拶を送り拍手を受ける。ここで改めて各メンバーは心の中にしっかりとロータリアンとしての自覚を深めたにちがいない。

竹田RI理事は祝辞において七十二年にわたるロータリーの伝統を述べ、会員の精進を促された。

長谷川足立区長は地域内でロータリー精神の発揚を特に希望された。

ここで国内外から寄せられた祝電が上田幹事から披露され、次いでロータリー財団寄金、伝達式記念事業目録贈呈が鈴木会長よりあり、更にスポンサークラブより祝品贈呈が二葉会長からなされ、記念品贈呈のあと遠隔地登録者代表として岩手県花巻市より参加の佐々木氏(チャーターナイト 258回記録保持)が登場、チャーターナイトおじさんの異名よろしくお国なまりの挨拶はほほえましいものであった。

大会も大詰め。「我等の生業」を全員が唱和し、もり上った本伝達式は相臺副会長の閉会の辞によって見事にひきしまり、姫川特別代表の点鐘が閉会を告げた。午後4時39分。

終始、この間、ソングリーダーとしてのかたわら、大会音楽指揮者として絶えずエレクト



ソングリーダーは藤山一郎
東京・西RC会長



「新しい時代の経営感覚」
と題して記念講演される
佐々木秀一 P G



アトラクションは
ペギー・葉山、
ダーク・ダックス



トーン奏者に合図を送り、素晴らしい大会のムードを高められた藤山一郎氏の寸分の間もない心配りには頭が下るばかりである。

和やかに祝宴

二部の最初のプログラム、パストガバナーの佐々木秀一氏の講演は「新しい時代の経営感覚」と題され国際的視野に立って日本経済の今後の在り方に有益な示唆を与えられた。

祝宴は一階のファミリアホールに会場を移

し、熱気に満ちた中で、しつらえられた模擬店やテーブルを囲み、ダーク・ダックスやペギー葉山の歌に聞き入る人、談笑する人、舌鼓を打つ人、様々な交歓の風景がみられた。

最後に藤山一郎氏のなつかしいメロディに昭和史を辿る思いがした人も少なかったのではないだろうか。

おわりに、手に手をつないで出席者が一つに和し、文字通り大会を輪に閉じた。

松崎芳隆記 <週報より転載>